

## 今月のよっしー

「地域医療を学ぶには、地域に行ってそこにとどまり、先生方やスタッフの皆様、患者さんから学ぶしかない」

先日教育担当の副学長がわざわざ講座を訪問されて、文部科学省による大学評価で本学が高い評価を受けたその一つに「ごちゃまぜ師養成講座」の取り組みが評価されているとお話がありました。地域での多職種連携教育は大きな柱と掲げておりましたのでとても誇りに思います。

もう一つの大きな柱である医学生教育で、新しくスタートした地域包括ケア実習の記念すべき第一弾が無事終了して、第2陣が先日大学へ帰ってきました。皆本当にいい笑顔をしておりました。このニュースレターを読んでいただいている各地の皆様のご協力のおかげです。皆さまにお任せして本当によかったと思います。学生たちには日々の実習を頑張るだけでなく、振り返りをオンライン上で書くことを義務付けております。それを講座教員が遠隔よりフィードバックしております。戸惑いながら、時には驚いたり、涙したり、成長するプロセスがわかります。

それまでの実習に比較すると、グループで行動する実習から基本的に一人で行く実習になるので精神的にもかなり負荷がかかっているかもしれません。そうした影響なのか何人かの学生で実習態度や日々の挨拶などのマナーにおいて皆様にとって不快な印象を与えてしまったかと思えます。この場を借りてお詫び申し上げます。可能な限りのフィードバックや指導をしていきますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

実習内容については、各地の地域特性やそれぞれの病院や施設の特徴も様々です。学生たちにはそのことを伝えております。置かれた状況の中で、チームの一員として努力するように激励しております。週に一回のテレビ会議で「生存確認」をしつつ、最終日には各自の経験を皆で共有しています。この最終日の発表はとても勉強になります。各地の最新状況がわかりますし、彼らの頭の中で描いていたイメージから体験を通して得たことが繋がり腑に落ちて自分の言葉として紡いでくれます。将来どの診療科、どの地域に赴任するにしろ、この体験はとても生きてくると確信しております。春には実習プログラムの中間報告や意見交換、お互いのノウハウの共有を計画しております。よろしくお願い申し上げます。



教授 吉村 学

## 総合診療 Tips

～このコーナーでは総合診療にまつわる豆知識などをお伝えします～

## 第4回 「患者中心の医療の方法 (PCCM)」

患者さんのことを中心に医療を行いたいという心構えではなく、「患者中心の医療の方法 Patient-centered clinical method (PCCM)」という臨床技法モデルがあります。1980年代に開発されて研究や教育に応用、コミュニケーションや患者アドヒアランスの改善、健康アウトカムの改善、費用軽減など一定のエビデンスが示されています。

2014年に第3版が発表され、次の4コンポーネントから成る技法になります(第2版では6コンポーネントでした)。

## (1)健康観、疾患、病いの経験を探る

健康観：患者さん固有の健康であることの意味、健康にまつわる希望や目的など

疾患 (disease)：病歴・身体診察・検査などの客観的情報

病い (illness)：病気の罹患や体調不良により患者が受ける主観的な影響

開かれた質問を効果的に行い、身体面だけでなく心理社会的な情報も得ます

## (2)全人的に患者を理解する

患者さん自身の家族や地域社会など、さまざまな背景(コンテクスト)を把握

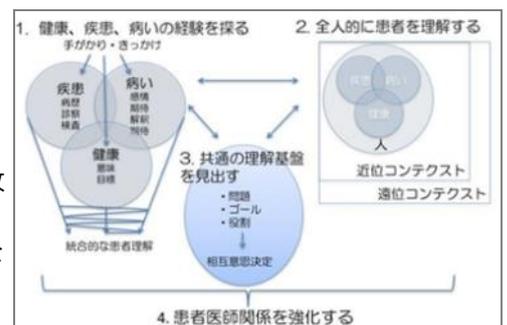
## (3)共通の理解基盤を見出す

①健康問題に対する理解の共有、②健康問題へのマネジメント方針の共有、③マネジメントにおける医師・患者双方の役割の共有という3ステップを踏み、決断の共有(計画づくり)につなげていく

## (4)患者医師関係を強化する

継続的な患者・医師関係による信頼感の増進

右上図を頭の中で意識しながら診察をすることが、技法を身につける第一歩となります。



## 地域包括ケア実習がスタートしています。

10月29日から始まりました5年生全員必修の4週間の地域包括ケア実習。宮崎県内各地で常に13-14人の学生が関係医療機関でお世話になっています。週1回行っているWeb振り返りでは、各自の近況報告、教員からのミニレクチャー、1週間の目標・抱負など学生と講座とをWebでつないで意見交換しています。

現地では本当に色々な経験をさせていただいており、実習の様子を視察に行くと、学生全員がいい表情をして多くのことを学んでいました。

最終日は大学内で全員で実習の報告や振り返りを行っています。各学生の発表から、それぞれの地域で多くの学びを得てきたことを感じました。講座としても試行錯誤中ですが、より多くの実習をしてもらいたいと考えています。宮崎県内全域でお世話になったみなさま、本当にありがとうございました。今後も引き続きご指導の程よろしく願いいたします。



## 地域医療を支える人材育成講演会に参加しました。

12月8日(土)、延岡市カルチャープラザのべおかにおいて、「地域医療を支える人材育成講演会～『医療者が働きたい街No.1』を目指して～」が開催されました。

当講座からは基調講演(吉村学教授)・先輩からの声(専攻医・梶田一旭先生)・意見交換会のコーディネーター(桐ヶ谷大淳助教)として3人参加させていただきました。およそ200名くらいの中高生が、県北の9市町村から集結しており、意見交換会では非常に活発な質疑応答が行われました。

教授を筆頭として、これからの将来の地域医療を支える若者にお話しさせていただき、これをもとに県北の地域医療がさらに良くなっていくことを願っています。



▲吉村先生による講演



▲梶田先生による「先輩からの声」



▲意見交換会の様子

## ごちゃまぜ師第2期生30名が誕生しました！

11月23日～24日、多職種連携教育(IPE)コーディネーター「ごちゃまぜ師」養成講座Day3～4を開催しました。

Day3の講師として、大正大学の浦崎太郎教授、有限会社ノトコードの平林慶史氏にお越しいただき、高校生へのIPE実践、IPEプログラム作成へのキーなどお話しいただきました。

最終日は「私たちの地域のIPE」をチームでデザイン、チームごと(7チーム)の発表・質疑応答を行い、30名のごちゃまぜ師が新たに誕生しました。各チームとも素晴らしい発表内容でした。今後それぞれの地域でのIPEの中心になると思います。

養成講座は来年度も開催予定です。興味のある方、ご参加お待ちしております。

### 講座のイベント情報

- 三浦先生家庭医療専門医合格祝賀会  
1/14(月・祝) 12:00～ 場所:日南市
- ウィンターセミナー  
1/14(月・祝) 14:00～ 場所:日南市
- レジデントデイ  
1/25(金) 18:00～ 場所:串間市
- General Medicine 漢方ベースキャンプ  
2/2(土) 14:00～ 場所:日南市
- まちづくりに関するシンポジウム(予定)  
2/17(日) 場所:都農町
- 地域医療ガイダンス冬の陣(主催:県医療薬務課)  
2/20(水)～2/22(金)

※詳細はホームページやFacebookに順次アップします。

宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200 TEL:0985-85-9809 FAX:0985-85-9805

E-Mail: [chiikiiry@med.miyazaki-u.ac.jp](mailto:chiikiiry@med.miyazaki-u.ac.jp) URL: <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/community-medicine/>

